



戸田ヶ原 レポート

夏草が茂る戸田ヶ原自然再生エリア第1号地。今回は、7月から8月の戸田ヶ原自然再生エリア第1号地の様子と7月の保全管理作業について、ご報告します。



トモン
ハナバチ

2013年2月のさくらそう植え付けイベントでオグルマを播種した鉢を配布し、1年間育成した苗を2014年1月に植え付けました。植え付けたオグルマの一部が7月下旬に開花しました。

オグルマ



トダシバ



荒川の上流側から株をいただき植え付けたトダシバが、穂を出しました。かつての戸田ヶ原の付近に多く生えていたことから、この名が付けられました。来月には簡易看板を設置する予定ですので、ぜひトダシバをご覧ください。

管理
作業



7月の保全管理作業

戸田ヶ原自然再生エリア第1号地の水辺でさまざまな生きものがくらするように、2011年以降、水面を覆ってしまうガマを夏に刈り取り、開放水面を確保しています。7月21日にガマを刈り、7月22日に戸田ヶ原サポーターの方々と刈ったガマの運び出しを行いました。開けた水面には、次々とトンボが訪れていました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



埼玉県内での記録が少ない種です。戸田ヶ原自然再生エリア第1号地では、2010年4月からモニタリング調査を行っていますが、7月に初めて確認することができました。夏にも草花が咲く草はらを目指して、植物の植え付けや草刈りなどの作業を進めてきた成果と考えています。

植樹したハンノキが結実

ミドリシジミの舞う林を再生するために、ハンノキを種子から育てて植える活動を2010年から続けています。最初に植樹したハンノキは、高さが3mを超えるまでに生長し、今年初めて花を咲かせ、実をつけるようになりました。今年も11月にハンノキの植樹を行う予定です。詳細は次号でお知らせします。



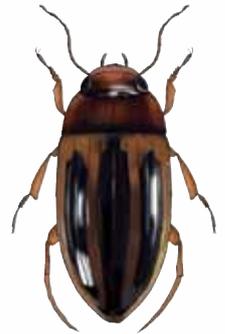
戸田ヶ原サポーター活動予定

9月9日(火)に戸田ヶ原自然再生エリア第1号地の保全管理作業、10月18日(土)にチョウジソウの植え付けを予定しています。活動への参加を希望される方は、時間や集合場所などの詳細をお伝えしますので、事前に環境政策課までご連絡ください。

トダセスジゲンゴロウ

戸田ヶ原自然再生では、多様な生きものを育む場の再生を目指しています。今回は目標種のトダセスジゲンゴロウを紹介します。

トダセスジゲンゴロウは、限られた地域にのみ生息する小型のゲンゴロウです。1985年に戸田市道満の荒川河川敷で発見され、この名がついています。トダセスジゲンゴロウが発見された小さな池は開発により失われてしまい、戸田市域ではその後は記録されていません。戸田ヶ原自然再生の目標種になっていますが、トダセスジゲンゴロウの本来の生息地は湧水のある水溜りと考えられており、そのような環境の再生は簡単ではありません。



ワレモコウ情報

育成中のワレモコウは、茎の長さが15cmほどになっています。まだ気温の高い日が続くと思いますので、水を切らさないように与えてください。



JR埼京線またはJR武蔵野線
武蔵浦和駅より「下笹目 行」バス乗車
「彩湖・道満グリーンパーク入口」
下車徒歩10分

JR埼京線 北戸田駅より
tocoバス美笹循環乗車
「道満」下車徒歩8分

